観光資源開発としての小樽市立病院・医療ツーリズム事業の実現可能性調査

プロジェクト代表者：伊藤　一

１．プロジェクトの目的・概要

小樽市立病院が新設開院し、院内メンバーによるメディカルツーリズム（MT）研究会を3年前から発足させ、事業化に向けての調査研究活動を実施し、合わせて院生の学術成果促進、学部生らの教材提供をになってきた。昨年度はグローバルメディカルツーリズム（MT）事業として健康診断事業（自由診療）に絞り、観光事業との連携した事業を検討し、本研究会の調査報告内容を基に小樽市立病院とメディカルツーリズムジャパン（株）との業務契約（「メディカルツーリズム業務委託契約書」）を締結することになった。本年度は上記契約による利用者1号を迎え入れ、その利用度に関する調査を実施。さらに国内観光客（主に日本人）を対象としたMTの事業化を促進するために、病院および外部業者（旅行業者・宿泊事業者）を交えビジネスプランを策定し、事業展開を支援することを目的とした。

２．具体的な取組内容

①平成28年7月7日、中国からのメディカルツーリズム利用者に対して、満足度調査を実施。調査結果から、より適切な事業プランを検討。②国内のメディカルツーリズムの促進を検討し、小樽市内業者（DCTツーリズム社）とのビジネスモデルを構築。内容としては検診のオプションの設定、価格設定、地域の宿泊事業者（グランドパークホテル）との宿泊プランと食事メニューの策定を研究会にて検討した。更に私立病院の栄養部の協力によるヘルシーメニュー（仮称）を検討し宿泊の魅力度を高める企画を策定。

教育の視点では当該①については博士後期課程院生が学会報告を実施できるよう研究資源を提供。②については学部学生（ゼミ生）の研究会参加により、従来実施されている他医療機関と宿泊施設とのMTプランでの健康メニューの検索や宿泊施設担当者へのヒアリング調査を実施させ有益な視点を得た。

３．プロジェクトの成果及び地域への還元

本研究会の活動の成果として小樽市立病院（契約者）とメディカルツーリズムジャパン（株）との業務契約（「メディカルツーリズム業務委託契約書」）によりメディカルツーリズムで入国する顧客及び医療滞在査証で入国する顧客に対し、委託者が小樽市立病院において試験的に実施する健康診断業務の業務委託契約”が締結され、契約に基づいて7月に中国からの検診利用者第一号が実現した。その際の利用度調査を実施し事業プランの改変がなされた。さらに国内旅行者向けの医療ツーリズムの事業のビジネスモデルの策定をおこない、構築プロセスの過程で学部生・院生を交え研究教育資源として活用した。

・教育成果・学会報告：「地域医療機関の活性化に関する一考察」（宋・伊藤（2016）　地域活性学会第8回全国研究大会報告。（報告者宋潔は当該研究データを元に博士号学位取得）

・地域への貢献：国内旅行者向け医療ツーリズムの事業モデル（市立病院栄養部の協力によるヘルシーメニューを活用した旅行プラン（グランドパークホテル小樽））は現在策定中であり、完了後速やかに、旅行業者によるPR活動が実施される予定。